$\coprod$ 

政

請

君 君

作 作 Ж 詇

弧は 無い 大地の 奥 渓巒はるか訪ね来し 地ち 奥\* 欧に旅立ちて 人に征 正く 吾ゎ や

暮ぱら

は低い

く漂ひて

|風に咽ぶよ

7

は凋

ちょうらく

、落の悲歌に泣く

**楡**りょう 噫ぁぁたましい 旅にしあれどそは深き の常 のふるさとか や三春の

秋りうし 久をなる の星を仰がずや の歩み運ぶ夜半 :は移る秋の日の

0

.大も夢む幌のさと の心を温ぬれば

坤球鳴 孤こ高い 人の世と生く佗しさに 高き理想は人の世をため、こころ、ことのこと 鳴りて吹雪き狂ふ

> 事ふる道は烈しかる 栄ゆる時ぞ益荒男の

いざ浩歌はなん天壤

0

心虚しき歓喜よ 浮生の夢は消え果てて の峯に伏する今いま

月皎々の滄海をゆく 夏宵の霞靉びきてかしょう かすみたな 花仄白き 憂あり 馥り床しきアカシヤ

> 古衣を重ぬっ 新たせい 雲雀り 時乾坤に春よ立た 北溟春は浅けれ が清き 一の合う は高たか 口唱野に満ている らく 黄花咲き ら空に る 日<sub>で</sub> 入り [は逝い سل

ŋ

7

尊き誓ひ立てよかし 今宵祭の聖き火に 興亡分るる秋なればこうほうわか